

～ 海賊対処の第6次派遣部隊がソマリア沖・アデン湾に向け出港 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第6次の派遣海賊対処行動水上部隊が日本を発った。

第6次隊は、三船忍 第3護衛隊司令の指揮の下、護衛艦「せとぎり」(西脇匡史艦長)および同「まきなみ」(秋元辰夫艦長)、乗員約400名(海上保安官8名含む)により編成され、8月23日に「せとぎり」が大湊基地を、8月26日に「まきなみ」が佐世保基地をそれぞれ出港した。両艦は現地到着次第、第5次隊の護衛艦「ゆうぎり」・「むらさめ」に代わり、護衛活動を開始することとなる。

「せとぎり」出港行事(大湊)には、当協会より、佐々木川崎汽船常務執行役員、赤峯日本郵船経営委員、根本商船三井執行役員および中本当協会理事長他が、また、「まきなみ」出港行事(佐世保)には、有馬東京マリン常務執行役員、植田川崎汽船安全運航グループ長および保坂当協会海務部長他が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗員の方々に感謝の意を表した。

(海務部 斎藤)

(添付写真)



三船第3護衛隊司令(左)と秋元まきなみ艦長(左 盛大な見送りの中出港する「まきなみ」(佐世保 世保)



西脇せとぎり艦長に花束を贈呈する中本当協会理事
長（大湊）



当協会の感謝のメッセージ



西脇せとぎり艦長の出港あいさつ（大湊）



出港する「せとぎり」と見送るヘリコプター部隊（大湊）